

読書のまち・かわさき通信 NO48

第1回
全市
ボランティア
研修会

読書のまち・かわさき事業推進委員会 会長
川崎市教育委員会 学校教育部 指導課長

「昔話が語る子どもの成長」

～小澤俊夫先生をお迎えして～

2008年7月24日、多摩区役所こども支援室の企画で、小澤俊夫先生の講演会が開催されたことを昨日のこのように思い出すことができます。

小澤先生の講演の中で溢れ出る、「世界中の昔話の魅力」に惹きつけられました。それとともに、昔話の根底には、成長する若者への応援歌とも呼べるメッセージがあることがわかりました。小澤先生はそのことをたくさんの昔話の語りや事例紹介を通して、とても平易に、愛情をもって伝えてくれました。

その時の“小澤語録”をここで少しだけ紹介します。

“昔話は若者の成長を語っているのです”

道徳的、教訓的だと思われがちな昔話の誤解を解く言葉です。それとともに、昔話かもつメッセージは、時代を超克して、現代にも通じていることを説く言葉でもあります。

「ぼくは、昔話のそこに注目します。昔話は、主人公が変化しながら成長する姿を語っているのです。人間は変化するものですから」。

“昔話は、短い物語の中で、認識しにくい成長の変化をはっきりと見せてくれるのです”

実生活の中で、一日の成長の変化というのは、目に見えないですね。昔話は、主人公の成長や心の揺れを短い物語の中で、わかりやすく見せてくれるのです。

思春期の子どもは天使をやめようと思って苦しんでいるのです

『シンデレラ』（グリム童話の『灰かぶり』）の話は、若者の心の揺れ動きと成長を考える上で、とても興味深いものでした。シンデレラは、亡くなった実母のお墓に行く習慣がありました。ある時、そのお墓に鳥が現れて、舞踏会に着ていくドレスを落とし去っていくのです。この鳥は「死者の魂の化身＝実母」だと言うのです。そして、ドレスは、実の母がくれた姿＝シンデレラの本質的な美しさの象徴だということです。いつもは灰まみれになっている自分にも、こんな美しさがあったのかと気づく瞬間です。人は、自分の新たな可能性に気づくと、誰かに認めてもらいたいと思います。それが、「舞踏会」という場面だと言うのです。自分の価値を認めてくれる存在は王子様でした。さらに、ガラスの靴の片方を落としていくまでに三回舞踏会に出かけています。これが昔話では、とても重要なのだそうです。何度か揺れ動いて、行きつ戻りつしながらゴールに向かっていくことが「成長」の姿なのです。これを小澤先生はこう表現しています。

“若者の成長は「ふりこ」なのです”

思春期の若者の象徴である「理由なき反抗」という面と同時に、それとは別の「自分の本当の姿」「自分らしさ」があって、それに近づきたい、そうなりたいという気持ちが同居していると言うのです。そして、そのことを認められたいという気持ちと、また「理由なき反抗」に戻るといふ気持ちの繰り返しをしていくのだと話していました。まさに、この繰り返しや揺れ動きが「ふりこ」なのです。そして、この「ふりこ」の行き戻りには「理由がない」のだそうです。昔話では、この揺れ動きの反復が重要で、この果てに幸せなゴールが待っていることが肝心だと話していました。

まだまだ心の琴線にふれる言葉とたくさん出逢いましたが、続きは9月22日に委ねましょう。いよいよ小澤俊夫先生が、全市ボランティア研修会の舞台に登壇です。

☆平成22年度第1回全市学校図書ボランティア研修会☆

◇日時：2010年9月22日(水) 10:00~12:30 * 受付開始 9:30

◇会場：中原市民館(JR南武線 武蔵小杉駅 東急東横線目黒線 武蔵小杉駅よりそれぞれ徒歩5分)

◇主催：「読書のまち かわさき」事業推進委員会・川崎市教育委員会

◇問い合わせ：教育委員会指導課 担当 松田 Tel 200-3243

祝♪受賞！～川崎北ライオンズクラブ第5回読書活動奨励校表彰式～

“自分の人生を決めるような大切な出逢いが、
本を通して実現することもあるのですよ”

川崎市教育委員会・金井則夫教育長から、受賞校への祝辞の中で語られた言葉です。金井教育長は、学生時代に手にしたある一冊の本との出逢いによって、美術の世界の扉を叩く第一歩につながったそうです。どうやら、キーワードは、「出逢い」のようです。本と人との出逢い、人と人との出逢いの中で、さらに本が手渡されるような「出逢い」の実現。本と人とを出逢わせるための工夫や努力を重ね、学校図書館に誘うことに日々、努力している受賞校の生徒さん。学校図書館を有効に活用しながら、本や言葉・映像から、生きる勇気や楽しみを享受する受賞校の生徒さん。そんな生徒さん方の姿勢や言葉にふれ、主催者である川崎北ライオンズクラブの皆様の笑顔も、一層明るく花開くようでした。

南大師中学校は、劇風に委員会活動の様子や受賞の喜びを伝えました。東橋中学校は、3年生の図書委員長の言葉をまるで自分の言葉のように共感し、伝えていました。鷺学校は、宮澤賢治さんの詩を引用し、本が勇気や力を与えてくれることを伝えました。受賞式を経て、さらに本や言葉、人との出逢いが広がっていくような予感に包まれる午後のひとときでした。

(6月2日 生涯学習プラザ)



♪ 夏だからこそ どしどし応募しましょう ♪

①「読書のまち・かわさき」読書標語・ポスター募集

募集期間 6月25日(金)~9月10日(金)

詳しくは、募集のプリントが配布されていますので、学校の担任や担当の先生に問い合わせてください。

②「かわさき読書の日のつどい」に向けた『しらんぷり』の感想文及び出演者募集

募集期間 8月27日(金)~9月27日(月)

詳しくは、募集のプリントが配布されていますので、学校の担任や担当の先生に問い合わせてください。

☆問い合わせ 川崎教育委員会指導課 200-3243

②は、200-3243 及び 935-3795